

# 日本語教師が知っておきたい著作権2024

～教材別に著作権について考えよう！～

今年度から登録日本語教員の資格取得にかかる必須の教育内容 50 項目の中に著作権が含まれました。それだけ、著作権が注目されているといえるでしょう。ただ、項目内で教授される著作権の内容はどうしても概論的なものになってしまいます。当該講座は、概論だけではなく、より具体的な教材作成に注目して、著作権の考え方を身につけて頂こうというものです。明日からの教材作成に役立つ著作権講座です。

講師 **我妻 潤子 先生**

| 日程                            | 内容  |
|-------------------------------|---|
| 第1回<br>7/3（水）<br>19:00～20:30  | <b>日本語教育おける著作権</b><br>登録日本語教員の資格取得にかかる必須の教育内容 50 項目の中に著作権が含まれました。そこで、日本語教員が置かれている著作権に関する状況を開設し、学校法人、株式会社立の日本語学校、ボランティアなどの立場においてどのように著作権の適用が変わるのか、著作権の基本的な考え方を解説するとともに、ひも解いていく回です。                       |
| 第2回<br>7/10（水）<br>19:00～20:30 | <b>日本語文法と著作権</b><br>日本語教員は自作で教材を作る機会が多くあるようです。そこで、第2回では、文法教材を作成する際に、起こりうる著作権的問題を取り上げ、著作権に気を付けながら、いかに充実した教材作りができるかを検討する回です。<br>※あくまでも著作権という視点から見た教材作り方に限ります。   |
| 第3回<br>7/17（水）<br>19:00～20:30 | <b>読解問題と著作権</b><br>日本語教員は自作で教材を作る機会が多くあるようです。そこで、第3回では、読解教材を作成する際に、起こりうる著作権的問題を取り上げ、著作権に気を付けながら、いかに充実した教材作りができるかを検討する回です。<br>※あくまでも著作権という視点から見た教材作り方に限ります。  |
| 第4回<br>7/24（水）<br>19:00～20:30 | <b>著作権最前線 2024、AI と日本語教育と著作権</b><br>近年、日本語教育も AI 生成物を利用したり、チャット型の Open AI を利用することが少しずつ増えてきたように思われます。また、一方で Open AI を利用することに躊躇がある教員も少なからずいると思います。第4回では、教材作成時に Open AI を利用することを想定し、その際に必要な著作権的視点を共有する回です。 |

## 我妻 潤子 先生

株式会社テイクオーバー コンテンツライツ部長  
知財アナリスト  
東京藝術大学非常勤講師



教育系企業を経て、2007年に権利処理の業務代行の専門会社に入社。地上波放送局でCS放送へテレビ番組を販売する際の権利処理、BS放送局にて番組配信のための権利処理に従事した後、教科書会社、大学などを対象とした権利処理業務に従事。2017年より現職。権利処理業務に従事すると共に、中学生から社会人まで幅広く著作権のワークショップや研修を展開しています。

### 受講方法

#### Zoomによるオンラインでの受講

※開催前日までに申込者のアドレス宛に受講URLをお送りいたします。

セミナー終了3営業日以内にアーカイブ配信を行います。1週間程度アーカイブ動画をご覧いただけます。当日ご都合が悪くなった場合や、繰り返し学習されたい場合等にご活用ください。

### 受講料

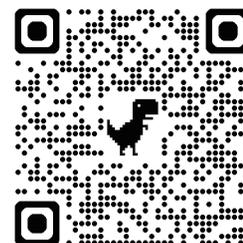
9,000円（税込） ※1講座のみお申込み：2,500円（税込）

### 申込期限

2024年6月30日（金）

### 申し込み

<https://osakaymca.ac.jp/jle-center/2402.html>



### 注意事項

- ◆申し込み人数が5人未満の場合、開講しないことがあります。
- ◆講座はPCでのご受講を推奨します。Wi-Fi環境など高速通信が可能な電波の良いところでご参加ください（通信料は受講者負担）。
- ◆講座の録画・録音等のご遠慮いただいております。
- ◆お一人様、一媒体でのご参加をお願いします。